

7. 障害福祉アンケート調査結果

調査の時期 平成 19 年 8 月実施

調査方法 郵送配付、郵送回収（無記名）

ただし、対象者の約 1 割は職員による訪問回収

調査対象数及び回収数 対象：1,000 件 回収：607 通

- ・ 身体障害者及び知的障害者は、障害者手帳所持者から無作為抽出
- ・ 精神障害者は自立支援医療受給者及び障害福祉サービス受給者証所持者から無作為抽出

【内訳】

障害種別		抽出数(件) A	回収数 B		回収率(%) A/B
身 体		710	466(件)		65.63
知 的		90	76(件)		84.44
精 神	自立支援医療	200	手帳なし	53(件)	43.50
	障害福祉サービス受給者		手帳所持	34(件)	
合 計		1,000	607(通)		60.70

障害種別の回収数及び回収率は、回収された調査票で 印がつけられた結果から集計した。また、複数の障害種別に 印がある場合もあり、合計値は一致しない。

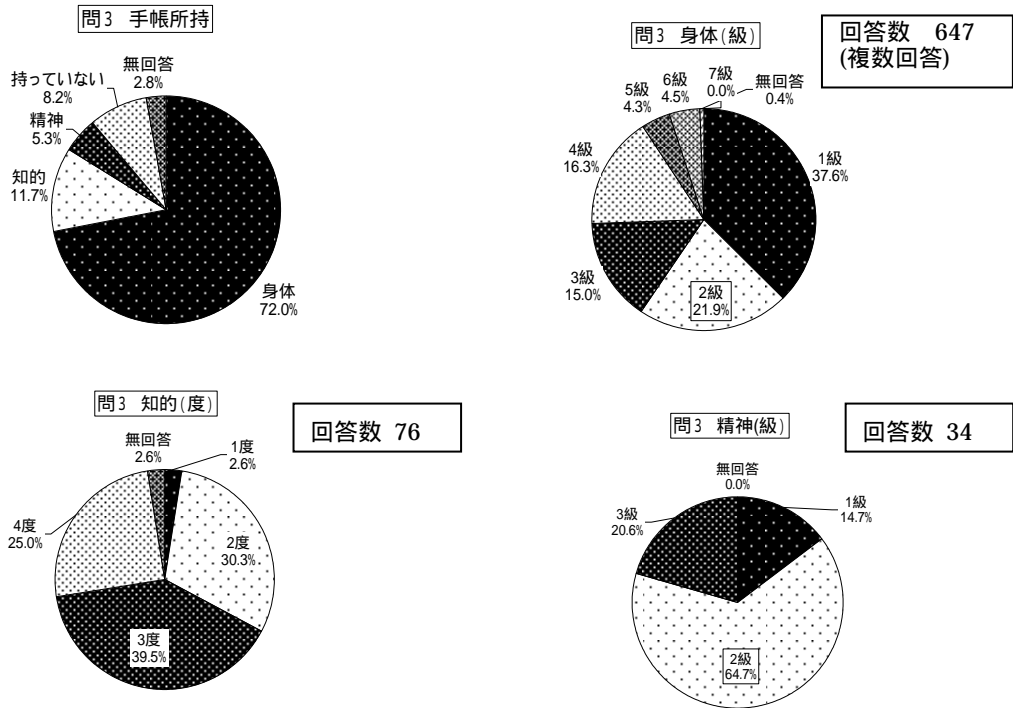
精神障害者は、手帳所持ではなく自立支援医療受給者、障害福祉サービス受給者証所持者で抽出したことから、「手帳は持っていない」を精神障害者に含めた。

1 回答者の属性

1) 障害種別と等級

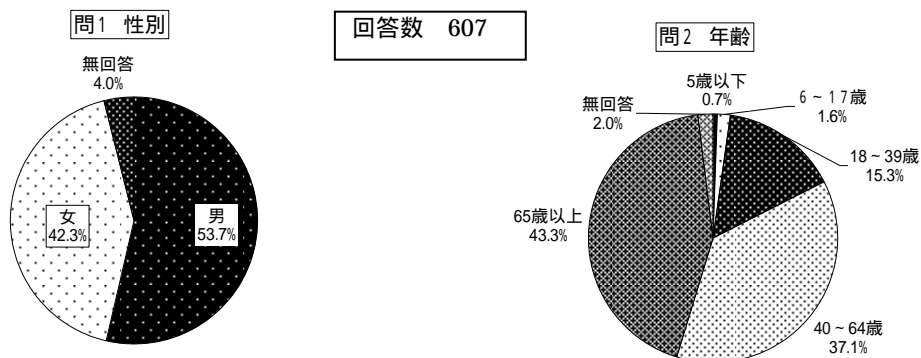
回答者の種別は身体障害者が約 72%、知的障害者が約 12%、精神障害者が約 5%となっている。

回答者の等級で占める割合が高いのは身体で 1 級、知的で 3 度、精神で 2 級である。



2) 年齢

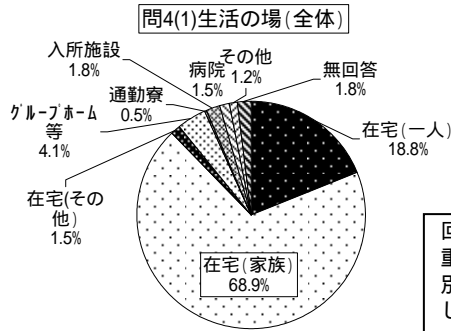
65 歳以上が約 43%、40 歳～64 歳が約 37%、18 歳～39 歳が約 15%と高齢なほど割合が高い。



2 調査結果

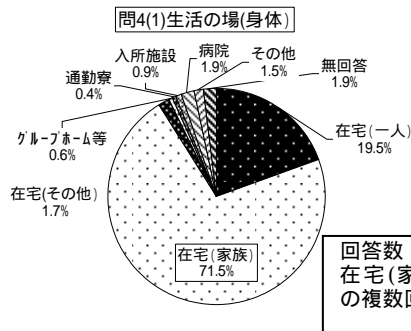
1) 生活の場

在宅（家族と同居）が約 69%、在宅（一人）が約 19%と在宅の割合が高くなっている。

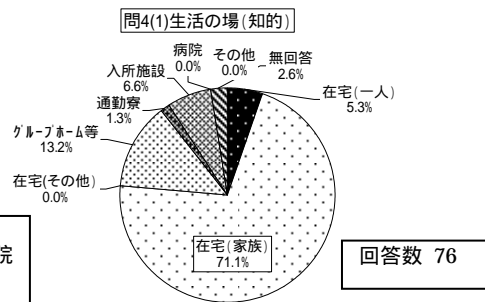


回答数 607
重複障害者の障害種別は、主な種別に集計した。

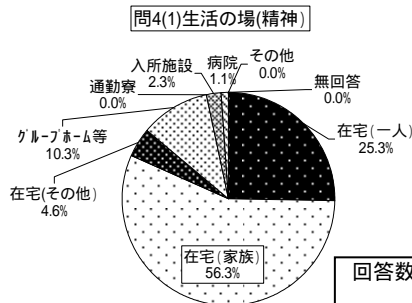
精神障害者では、在宅（一人で暮らす）の割合が高く、グループホームは知的・精神の割合が高い。



回答数 467
在宅(家族)と病院の複数回答あり

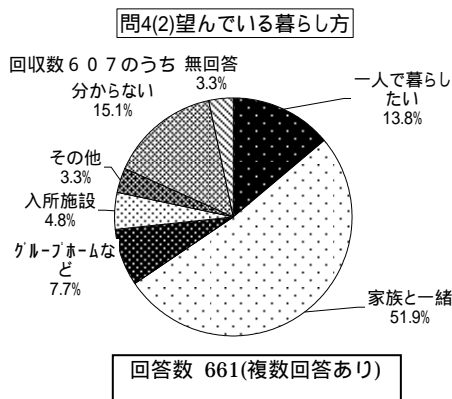


回答数 76



回答数 87

2) 将来の希望

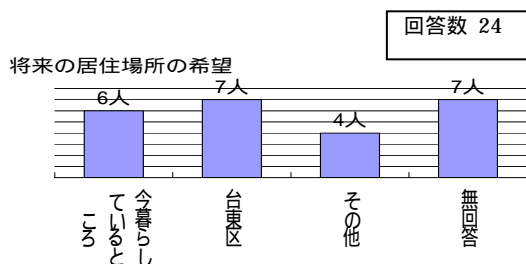
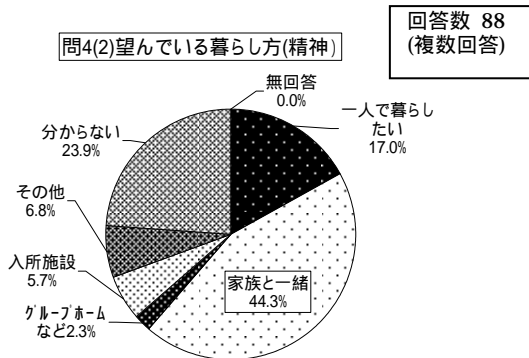
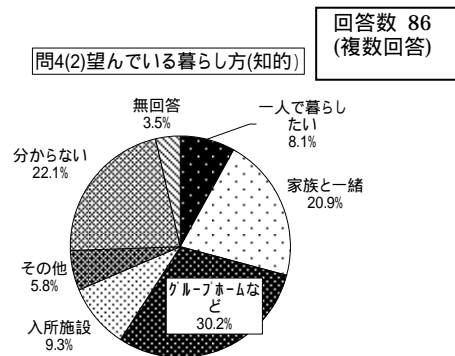
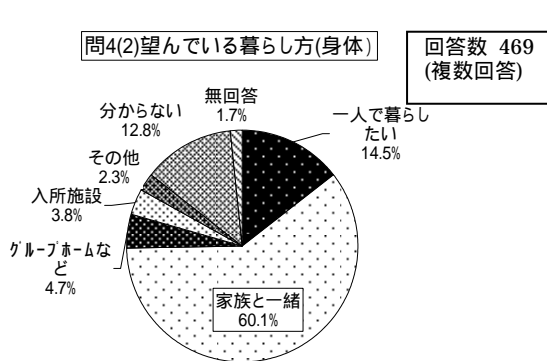


回答数 661(複数回答あり)

家族と一緒に暮らしたい 51.9%、一人で暮らしたい 13.8%等在宅生活を希望する者は全体の 65.7%となっている。

入所施設は 32 人(4.8%)、グループホームは 51 人(7.7%)が希望している。

入所施設、グループホームを希望している者は知的障害者の割合が高くなっている。



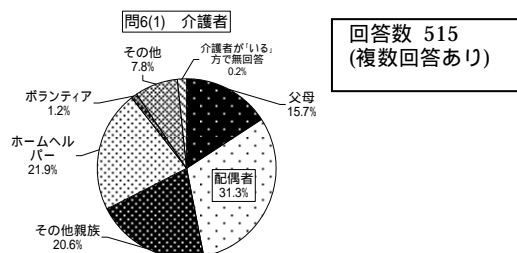
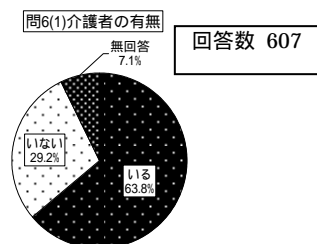
3) 将来の居住場所の希望

区外居住者 24 人の将来の居住場所についての希望は、台東区を希望する者が 7 人、今暮らしているところが 6 人となっている。

4) 日常生活について

介護者の状況

387 人(63.8%)が「日常の介護をするものが居る」と回答。その内訳は家族(父母・配偶者・その他家族)が 348 人(67.6%)と最も多く、次いでホームヘルパーの 113 人(21.9%)となっている。

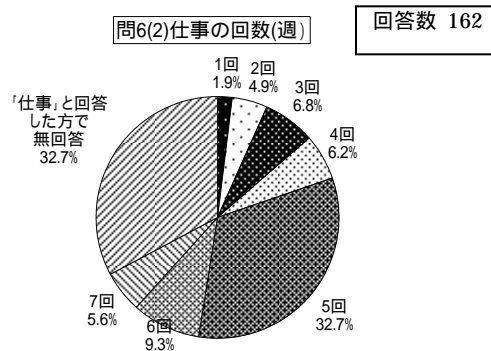
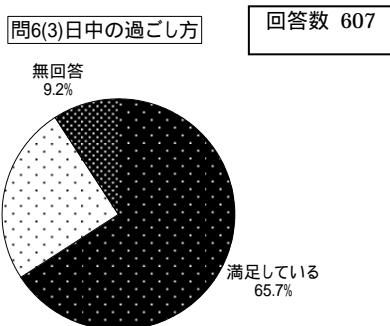
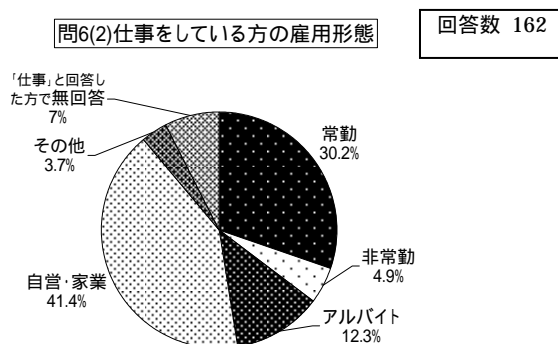
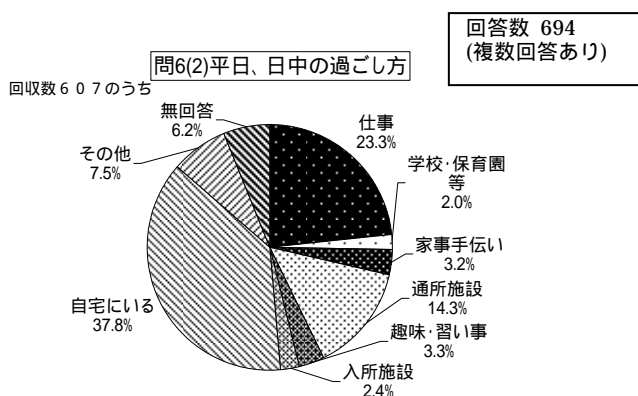


平日及び日中の過ごし方

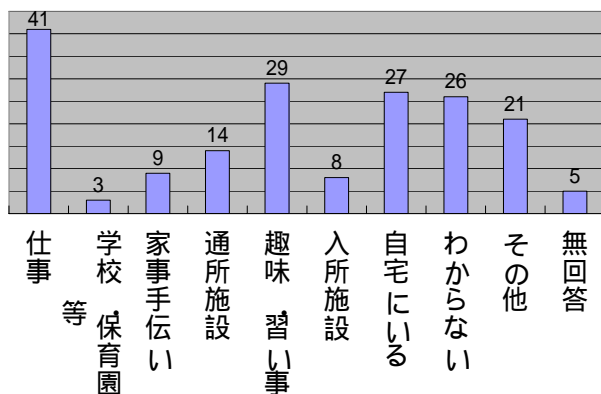
平日の過ごし方は、自宅に居るが 262 人で回答数の 37.8%と最も多く、仕事 162 人、同 23.3%、通所施設 99 人、同 14.3%と続いている。

日中の過ごし方について、「満足している」が 399 人、回答数の 65.7%、「満足していない」が 152 人、同 25.0%となっている。

仕事をしている方の雇用形態では、自営・家業が最も多く 67 人 (41.4%)、次いで常勤 49 人 (30.2%)、アルバイト 20 人 (12.3%) となっている。



5) 日中の過ごし方の希望 (複数回答)



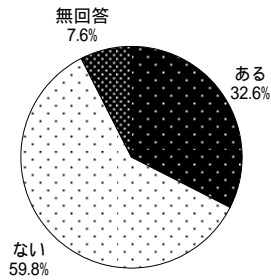
回答数 152 (複数回答)

日中の過ごし方に「満足していない」と回答した 152 人の希望は、「仕事」が 41 人 (約 23%) でもっとも多く、次いで「趣味・習い事」29 人 (約 16%)、「自宅に居る」27 人 (約 15%)、「わからない」26 人 (約 15%)となっている。

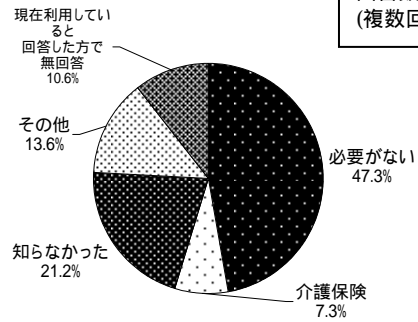
6) 現在利用中のサービス

「利用している」が198人(32.6%)、「利用していない」が363人(59.8%)で、利用していない理由は「必要がない」が47.3%、「知らなかった」が21.2%(複数回答)その他の13.6%で主なものは、「自分で出来るよう努力している」などが10人、「入院中」などが4人となっている。

問7(2)利用中のサービス 回答数 607

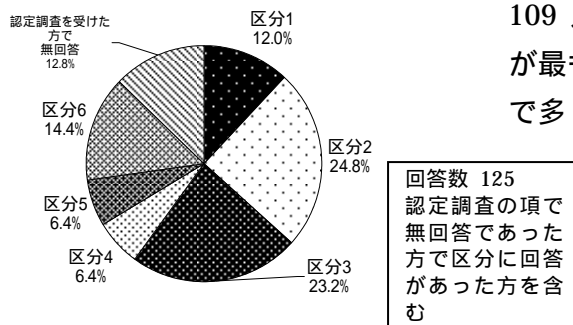


問7(2)利用していない理由 回答数 368 (複数回答あり)



7) 障害程度区分

問7(2) (1)障害程度区分

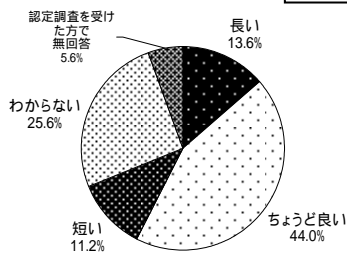


回答数 125
認定調査の項で無回答であった方で区分に回答があった方を含む

回答者のうち区分認定調査を受けた方は、109人で、障害程度区分の内訳は、区分2が最も多く、区分3、区分6(最重度)の順で多くなっている。

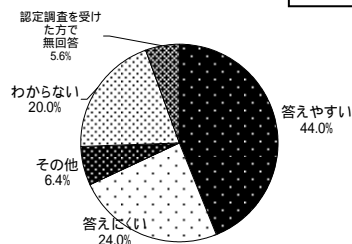
8) 認定調査について

問7(2) (2)調査時間 回答数 125

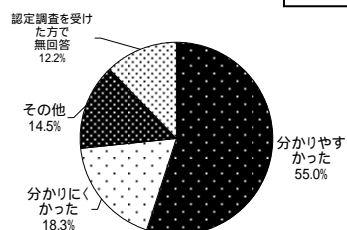


調査時間は、「ちょうど良い」が44%、調査内容は、「答えやすい」が44%、「答えにくい」が24%となっている。また、調査員の説明は、55%が「分かりやすい」としている一方、「分かりにくい」が18.3%であった。

問7(2) (3)認定調査内容 回答数 125



問7(2) (4)調査員の説明 回答数 125



9) 障害者自立支援法の施行前後でのサービスの利用状況

障害者自立支援法施行前からサービスを利用していた方は203人で、施行後に「利用を増やした」と回答した方は、通所施設で4人（通所施設利用者59人の6.8%）、居宅サービスで22人（居宅サービス利用者93人の23.7%）となっている。

また、「利用をやめた」と回答した方は、通所施設で3人（同5.1%）、居宅サービスで3人（同3.2%）、「減らした」と回答した者は、通所施設で5人（同8.5%）、居宅サービスで8人（同8.6%）となっている。

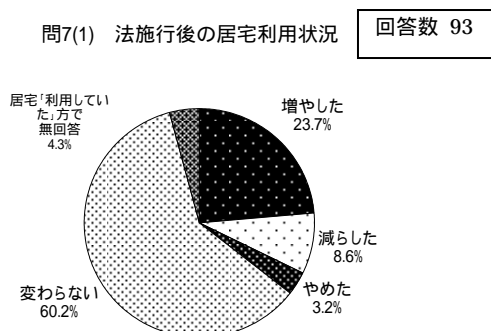
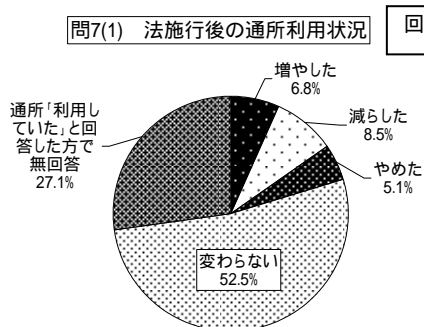
その主な理由は、以下のとおりである。

通所施設：利用者負担が増えた2人、他の訓練、施設へ移行2人、介護保険へ移行1人

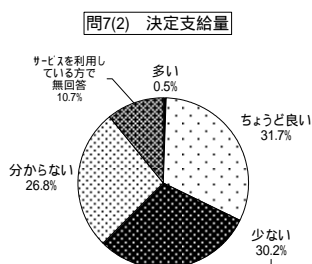
居宅介護：利用者負担が増えた1人、支給時間が減った2人、介護保険へ移行1人、自立・バリアフリーの家に住み替えた2人
希望するサービスが無い1人

通所施設

居宅サービス



10) 障害福祉サービスを利用している者で感じていること



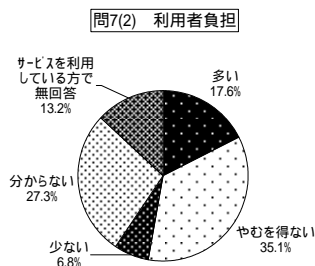
決定支給量について

ちょうど良い65人(31.7%)少ない62人(30.2%)
分からない55人(26.8%)となっている。

利用者負担について

やむを得ない72人(35.1%)少ない14人(6.8%)
の合計86人(41.9%)である。

一方、多いは36人(17.6%)となっている。

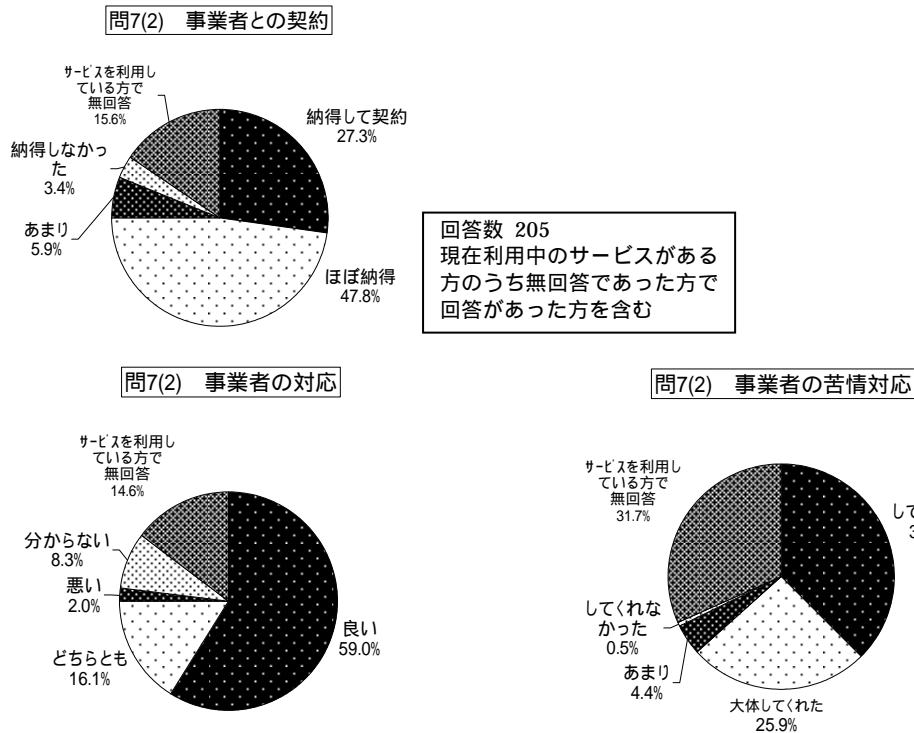


回答数 205
現在利用中のサービスがある
方のうち無回答であった方で
回答があった方を含む

11) 事業者の対応

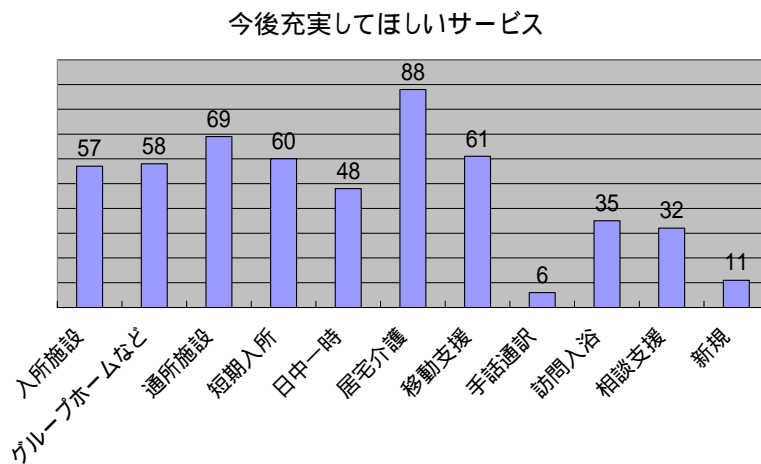
「あまり納得しなかった」(5.9%)「納得しなかった」(3.4%)の約 10%の方が、納得して契約していない。

また、「対応が悪い」が 4 人(2.0%) あり、理由は「利用者の気持ちに立っていない」等の不満の声であった。



12) 今後充実してほしいサービス（複数回答）

居宅介護が最も多く 88 人で、通所施設 69 人、移動支援 61 人、短期入所 60 人と居宅系・日中活動系サービスに対する要望が多い。また、入所施設は 57 人、グループホームは 58 人と居住系サービスについても強い要望が見られる。

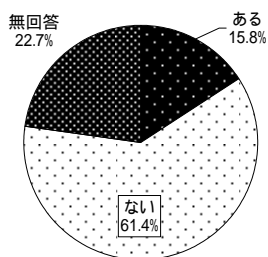


13) 自立支援医療

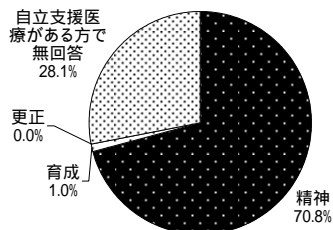
今回の回答者のうち、自立支援医療の利用者は16%となっている。

79%の方が通院回数に「変化がない」との回答であったが、今年度税制改正による自己負担上限額に関する所得条件の変化の影響を受けてか、46%の方が自己負担上限額の考え方が「わかりにくい」と答えている。

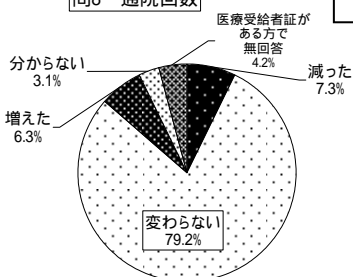
問8 自立支援医療受給者証所持者 回答数 607



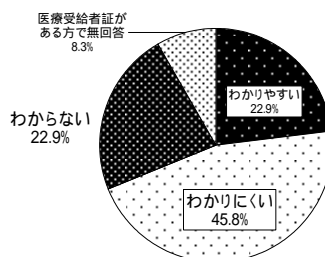
問8 自立支援医療の種類 回答数 96



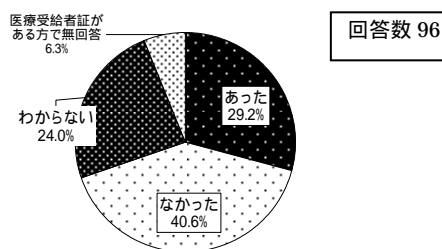
問8 通院回数 回答数 96



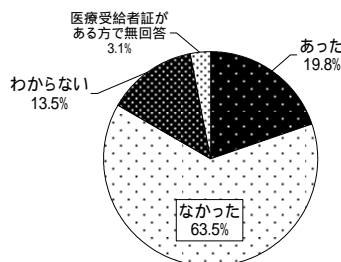
問8 自立支援医療の自己負担額の考え方 回答数 96



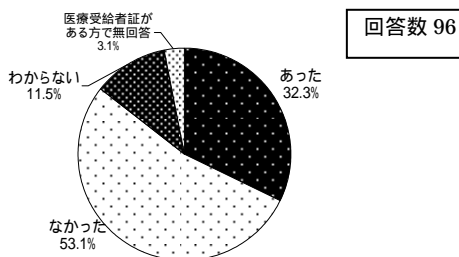
問8 上限額管理表の扱いで戸惑うことはありましたか



問8 受給者証の発行の遅れに伴い、自己負担で病院等と問題がありましたか



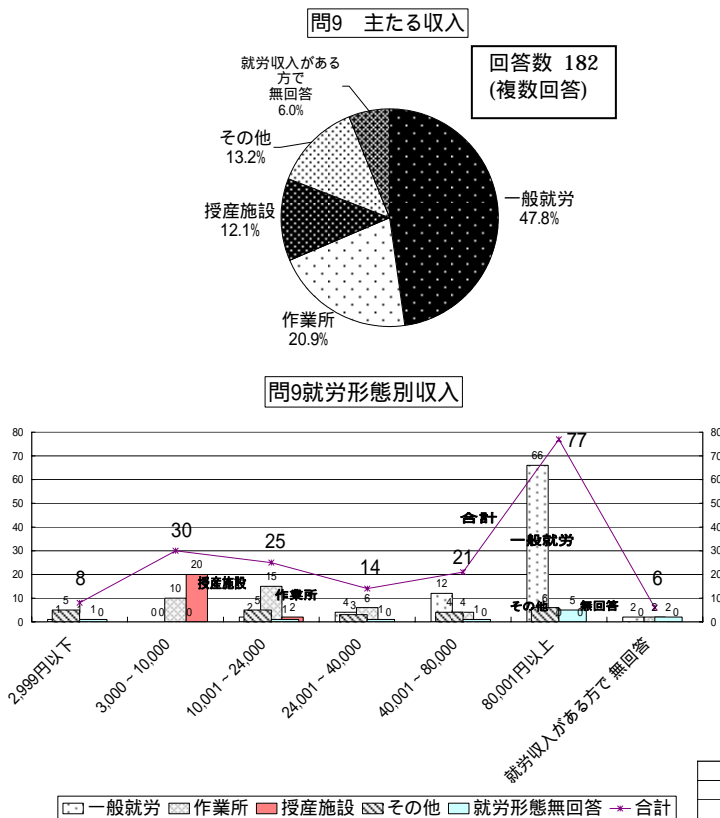
問8 医療受給者証の保管で戸惑うことはありましたか



14) 就労支援

「就労収入がある」と回答した方は 181 人、回答者 607 人の 29.8%であった。

作業所では 10,001 円～24,000 円が最も多く 15 人で、作業所と回答した方のうち 39.5%、次いで 3,000 円～10,000 円で 10 人(26.3%)、授産施設では、3,000 円～10,000 円が最も多く 20 人で、授産施設と回答した方のうち 90.9%とほとんどであった。



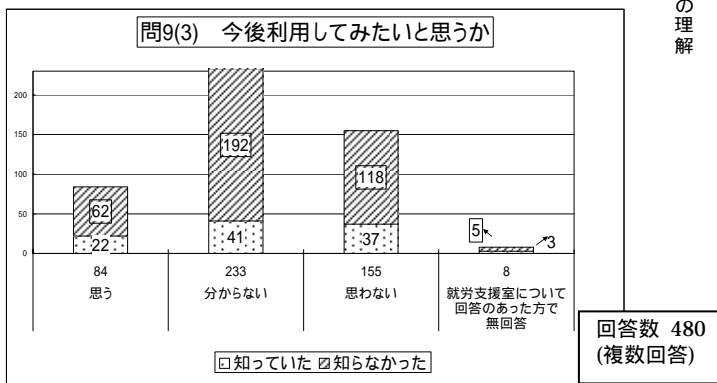
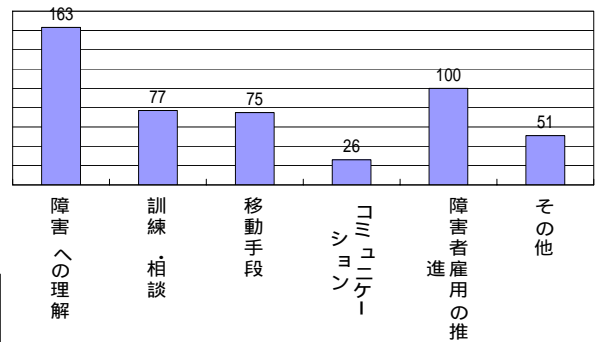
一般就労と回答した方 87 人のうち 66 人(75.9%)が 80,001 円以上と回答している。

就労支援室を「知っていた」と回答した方で「利用したい」とした方 22 人は、全員が身体障害者であった。

また、「知らなかった」と回答した方で「利用したい」とした方 62 人の内訳は、身体が 35 人、知的が 6 人、精神が 18 人であった。

回答数 492 (複数回答)

問9(2)就労につながる改善点

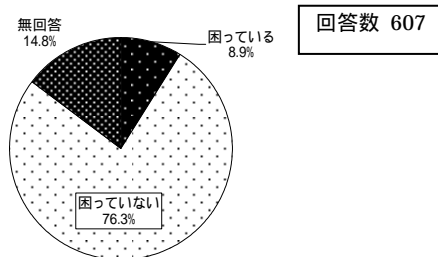


15) 金銭管理や福祉サービスの契約など

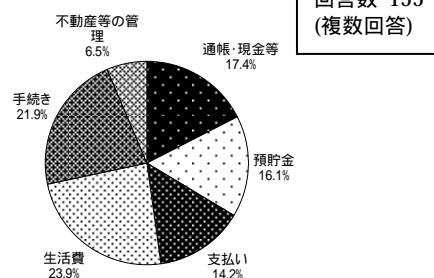
金銭や財産の管理で困っている内容について、身体で「金融機関の手続き」が多く、精神では「生活費の管理」が多い。

また、福祉サービスで困っている内容では、身体で「サービスが分からない」としてのものが多い。今後については、「家族や親族にお願いしたい」が大多数を占めている。

問10(1)金銭や財産管理で困っていることはありますか

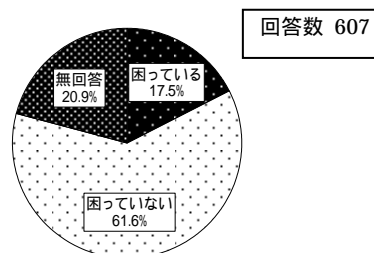


問10(1)困っている内容

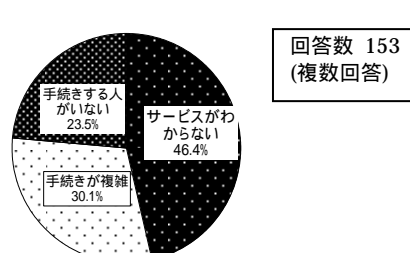


困っている内容 (複数回答)		通帳・印鑑・現金の管理	預貯金の払い戻し	各種利用料の支払い	生活費の管理	金融機関の手続き	不動産・有価証券の管理
合計		27	25	22	37	34	10
内訳	身体	14	14	13	15	22	5
	知的	9	9	6	8	8	2
	精神	4	2	3	14	4	3

問10(2)福祉サービスで困っていること



問10(2)福祉サービスで困っている内容

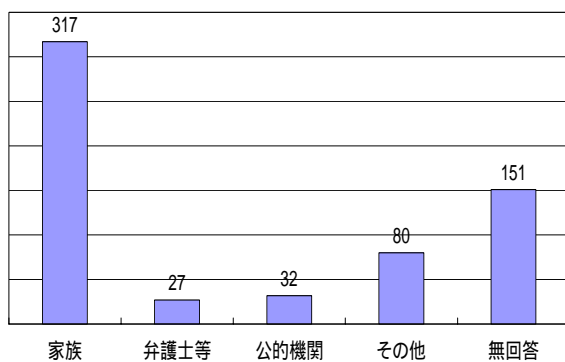


困っている内容 (複数回答)		サービスがわからない	手続きが複雑	手続きする人がいない
合計		71	46	36
内訳	身体	41	23	21
	知的	10	10	8
	精神	20	13	7

Q 今後の金銭や財産の管理と福祉サービスの申請や契約はどうしますか

問10(3) 今後の金銭や財産の管理と福祉サービスの申請や契約はどうしますか

回答数 607



その他では、「自分で行なう」が22人と最も多く、「分からない」「これから考える」などとなっている。